

# 山男がご来館です。 -山の版画家 畦地梅太郎展-



「白い山男」1964年  
(畦地梅太郎記念美術館・井関邦三郎記念館 所蔵)

2017.7.15 (土) ▶ 8.27 (日)

開館時間：午前9：30～午後5：00  
※入館は午後4：30まで

休館日：毎週水曜日

料金：一般 600円 高校生・大学生 400円 小学生・中学生 200円

※65歳以上の方・障害者手帳をお持ちの方は半額 ※小中生はココロカード提示で無料

Toyooka  
Art  
Season  
2017

参加事業

豊岡市立美術館 - 伊藤清永記念館 -



①「瀧沢の小屋」1967年／②「石鎚山」1946年／③「火の山と山男」1973年／④「らいちょう」1978年  
 (すべて畦地梅太郎記念美術館・井関邦三郎記念館 所蔵)

こんなに愛らしい山男、  
見たことない！

## 夏休みワークショップ 版画教室

自分で彫って、刷って、色ぬって……  
かわいい木版画を作ろう！

7月29日(土)・30日(日)

① 午前9:30～午前11:30 ② 午後1:30～午後3:30

講師：松田政斗（木彫作家）

※別途参加費・事前予約が必要となります。  
詳しくは美術館へお問い合わせください。

「山の版画家」として現在でも多くの山岳愛好家に愛されている畦地梅太郎。彼の描く山岳風景はシンプルでありながらも偉大さが表現されています。

また、代名詞でもある「山男」シリーズはユーモアあふれる作風で、思わず微笑んでしまう作品ばかり。暑い季節に癒しの山男たちに会いに来てください。

あぜち うめ たらう  
畦地 梅太郎（1902年～1999年）

愛媛県北宇和郡二名村（現：愛媛県宇和島市三間町）生まれ。17歳で上京し、内閣印刷局に勤務。仕事の合間に作品制作をしたことをきっかけに版画の道へと進む。1937年に仕事で訪れた浅間山に魅了されて山岳風景を描くようになり、この頃から「山の版画家」として知られるようになる。豪然とした山岳風景だけでなく、独特な世界観で自らの心境思考を描いた「山男シリーズ」や家族をテーマにした愛らしい作品も数多く描いている。

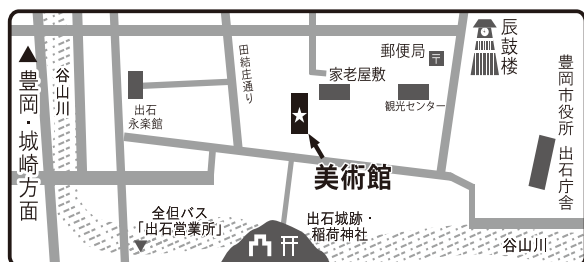
主催：豊岡市

協力：宇和島市立 畦地梅太郎記念美術館・井関邦三郎記念館、  
あとりえ・う

後援：豊岡市教育委員会、朝日新聞社豊岡支局、神戸新聞社、  
産経新聞社、読売新聞豊岡支局、新日本海新聞社、  
一般財団法人 兵庫県学校厚生会、出石ライオンズクラブ、  
FM ジャングル 76.4MHz

## 豊岡市立美術館 - 伊藤清永記念館 -

〒668-0214 兵庫県豊岡市出石町内町 98  
 〈WEB〉 <http://www3.city.toyooka.lg.jp/itoh-museum/>  
 〈TEL〉 0796-52-5456 〈FAX〉 0796-53-2088



### ▶公共交通機関（JR山陰線→全但バス）

JR豊岡駅または八鹿駅にて下車後、全但バス（出石行）に乗車 →  
出石営業所から徒歩5分

### ▶車（京阪神から140分、姫路から100分）

中国自動車道（吉川JCT）→舞鶴若狭自動車道（春日IC）→  
北近畿豊岡自動車道（八鹿氷ノ山IC）→R312号 →出石到着